

授業科目	韓国ビジネストレンド論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	南 喜玄						
授業概要	韓国は遅い産業化にもかかわらず、デジタル化という変化に合わせて急速な経済成長を遂げた。特に、世界の急速な変化を韓国式ビジネスモデルへいち早く転換したことが、今の韓国経済を成し遂げたと言える。また、産業と同様に文化的な側面でもインターネットを利用した YouTube、InstagramなどのSNSを積極的に活用し、世界の舞台の門をたたくなど、多様な変化を模索しながら発展してきた。本授業では、このような韓国のビジネス変化と、最新のトレンドや成功事例を通じて、多様性をビジネスの強みとするための具体的な戦略や取り組みを探っていく。						
授業形態				授業方法	講義資料は、Google Classroomにて事前にアップロードするので、事前学習を行う。		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 現代の韓国市場を理解するための必要な基礎知識を習得できる。 2. 韓国企業の世界戦略を理解することができる。 3. 韓国の文化や消費行動を把握し、その動向や展開について説明できる。
理想的レベル	アジアの中でも特に成長が著しい韓国市場の特性や最新トレンドを理解し、効果的・持続的な競争優位を築くことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0%	
小テスト	0%	
レポート	80%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0%	
レポート外の提出物	0%	
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	ナンバリング	T011210J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
配布資料を確認し復習をする。								4	

授業計画

第1回	ガイダンス（講義の進め方、留意事項、試験・評価の方法など） 韓国の産業と文化について解説する。
第2回	韓国事情（1） 効率主義について解説する。
第3回	韓国事情（2） 不況期の生存戦略について解説する。
第4回	韓国事情（3） 停滞した時間とシグネチャー（signature）、家族について解説する。

第 5 回	韓国産業（1） 電子・自動車産業のグローバル戦略について、事例を通じて解説する。
第 6 回	韓国産業（2） ビューティー産業のグローバル戦略について、事例を通じて解説する。
第 7 回	韓国産業（3） 流通産業のグローバル戦略について、事例を通じて解説する。
第 8 回	韓国トレンド（1） 個人消費と個人マーケティングについて解説する。
第 9 回	韓国トレンド（2） 変化する日常生活について解説する。
第 10 回	韓国トレンド（3） 個人中心の経済について解説する。
第 11 回	韓国トレンド（4） 外見社会と小規模経済について解説する。
第 12 回	韓国トレンド（5） K（韓国）商品の海外市場への進出について解説する。
第 13 回	韓国トレンド（6） K（韓国）コンテンツの魅力について解説する。
第 14 回	韓国トレンド（7） 製品とサービスの協力戦略について解説する。
第 15 回	韓国トレンド（8） 計画と成長について解説する。
テキスト	講義資料は、Google Classroom にて事前にアップロードする。 アップロードした講義資料をプリントアウトし、授業時に持参すること。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、授業中に適宜、指示・配布する。
課題に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題や小テストを採点して返却する。 2. 課題や小テストは正答を公開し、学習レベルを確認する。
学生へのメッセージ・コメント	現代の韓国ビジネスの事情、産業、最新トレンドなどについて理解・習得してください。なお、理論だけでなく、韓国トレンドをビジネスに活かす重要性、韓国トレンドを活用して成功した日本企業の事例なども説明できるように心がけてください。